令和５年度

一般選抜（Ｉ期）問題

試験日　２月３日

世界史

試験開始までに下記の注意事項をよく読んでください。

注意事項

① 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
② 開始の合図後、解答用紙に「氏名」、「個人番号」を記入すること。
③ 受験票、筆記用具以外は、机上に置かないこと。
④ 受験票は机上に貼付してある「個人番号」の手前に置くこと。
⑤ 記述解答で、字数の指定がある問題では句読点は１字として数えること。
⑥ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
⑦ 試験中は退席しないこと。（気分が悪くなった場合は、手を挙げて監督者に知らせること）
⑧ 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ること。

1、次の〔A〕～〔H〕の各文章は、世界史における著名な人物に関連して書かれたものです。よく読んで、以下の設問に答えなさい。

〔A〕英国において絶対王政最盛期に君臨した国王である。この人物の次に国王となった（①）は王権神授説を唱え議会を無視するなどしたため、後に$_{a}$ピューリタン革命を引き起こすことになった。

〔B〕フランスにおいて絶対王政最盛期に君臨した国王である。この人物は（②）を財務総監に起用し重商主義を展開したが、$_{b}$ヴェルサイユ宮殿での豪華な生活による浪費や対外侵略戦争などが国家財政をひっ迫させた。

〔C〕ドイツにおいて帝国主義政策を積極的に推進したときの皇帝である。この人物はこれまでの国内事情などにより遅れた帝国主義を強引に推し進め、中東に向けて$_{c}$3B政策を展開したりアフリカではフランスに対し二度に及び（③）を起こしたりした。

〔D〕ロシアにおいて（④）の敗北の結果を受け農奴解放令を出した皇帝である。その改革は不徹底となり、インテリゲンツィアと呼ばれる$_{d}$都市の知識人らは「人民のなかへ」を合言葉に農村に入り改革を目指した。

〔E〕インドにおいてムガール帝国の基盤を築いた初代皇帝である。この人物は（⑤）の戦いでデリー・スルタン朝の最後の王朝であるロディー朝を倒し、後に第3代皇帝となった$_{e}$アクバル大帝による発展の時代へとつなぐことになった。

〔F〕朝鮮半島において$_{f}$高麗を滅ぼし朝鮮王朝を成立させた国王である。その後に第4代国王となった世宗の時代には、金属活字による書籍の出版や（⑥）の公布などの文化的事業がさかんとなった。

〔G〕ベトナムにおいてフランスなどの援助により西山朝を滅ぼし新たな王朝を建てた国王である。このフランスとの歴史的経緯のなか、（⑦）の結果により締結された天津条約でベトナムは$_{g}$フランスの保護国となった。

〔H〕米国において三選辞退の慣例を破り四選の長きに及んで在位した大統領である。世界恐慌の時には（⑧）と言われる$_{h}$不況脱出のための経済政策を実施したが不完全であり、景気の完全回復は皮肉にもその後の参戦により実現された。

〔設問１〕文章中の（①）～（⑧）に入れるのに最も適する語句を答えなさい。

〔設問２〕〔A〕～〔H〕の各文章の冒頭に書かれた人物とは誰かを各々答えなさい。

〔設問３〕下線ａについて、ピューリタン革命のリーダーとなった人物とは誰かを答えなさい。

〔設問４〕下線ｂについて、以下の項目のうちヴェルサイユ宮殿と最も関係の深い建築様式を選び記号で答えなさい。

ア．バロック様式　　イ．ゴシック様式　　ウ．ドーリア様式
エ．ロマネスク様式　　オ．ロココ様式

〔設問５〕下線ｃについて、この政策の拠点となった三つの都市のうち一番東にあるのはどこかを答えなさい。

〔設問６〕下線ｄについて、農村に入り込んで改革を起こそうとしたこれらの人々はそのため何と呼ばれたかを答えなさい。

〔設問７〕下線ｅについて、アクバル大帝が首都とした都市とはどこかを答えなさい。

〔設問８〕下線ｆについて、以下の項目のうち高麗時代の出来事を一つ選び記号で答えなさい。

ア．壬辰・丁酉倭乱　　イ．三別抄の乱　　ウ．白村江の戦い
エ．甲午農民戦争　　オ．甲申政変

〔設問９〕下線ｇに関連して、第二次世界大戦直後にベトナム独立宣言を行った人物とは誰かを答えなさい。

〔設問 10〕下線 h について、この経済政策に関係しない項目を以下から一つ選び記号で答えなさい。

ア．ワグナー法　　イ．テネシー川流域開発公社　　ウ．農業調整法

エ．全国産業復興法　　オ．公民権法

〔設問 11〕〔A〕～〔H〕の各文章を時代順に古いものから新しいものへと並べたとき、３番目と６番目になるものを各々記号で答えなさい。ただし、冒頭の人物がその地位に就いていた期間で判断すること。

〔設問 12〕以下の出来事は、〔A〕～〔H〕の各文章の冒頭で示された場所のうち（現在の国や地域を基準とする）どこで起きたものかを各々選び記号で答えなさい。また、該当する文章がない場合は×で答えなさい。

ア．ナーランダ僧院が設立された

イ．ヘミングウェイやスタインベックらの小説家が活躍した

ウ．チュノム文字がつくられた

エ．カントやヘーゲルらの哲学者が活躍した

オ．世界最古の大学と言われるボローニャ大学が設立された

〔設問 13〕以下の戦争のうち、〔B〕の冒頭の人物が行った対外侵略戦争ではないものを一つ記号で選び答えなさい。

ア．オーストリア継承戦争　　イ．ファルツ継承戦争

ウ．南ネーデルランド継承戦争　　エ．スペイン継承戦争

オ．オランダ戦争

〔設問 14〕〔E〕の国における、1850 年から 1880 年までの英印関係の歴史的な展開について 60 字以内で説明しなさい。

2、次の〔A〕～〔H〕の各文章は、中国の歴史について書かれたものです。よく読んで、以下の設問に答えなさい。

〔A〕女帝（①）の即位による唐の一時断絶もあったが、玄宗が皇帝となり政治を立て直して唐の最盛期を現出した。a玄宗の晩年は政治が乱れ、節度使による（②）の勃発などにより唐の衰退が始まった。

〔B〕第６代皇帝となった神宗は、国防費の増大などによる国家の財政難を解決するために（③）を宰相に起用した。この人物のb新法と呼ばれる富国強兵を目指す改革は、後にその賛否をめぐる対立を引き起こし国家の衰退を招いた。

〔C〕モンゴル帝国の第５代皇帝（④）は、大都を首都とし国名を元として中国を支配した。元は民族による違いよりも実力主義を原則としたため、経済のことをよく知るc色目人を財務官僚として登用した。

〔D〕明の洪武帝は、d元の末期の混乱をおさめ世の中を安定させるために様々な取り組みを行った。民衆に対しては、人口調査を基に里甲制を行い、租税台帳である（⑤）や土地台帳である魚鱗図冊を作成した。

〔E〕清朝は第４代皇帝の康熙帝から、雍正帝、（⑥）の三代に及ぶ時代に最盛期を迎えた。この時代には『康熙字典』『四庫全書』の編纂事業などの文化的事業も行われたが、e反清的な言論や思想などは厳しく取り締まられた。

〔F〕アヘン問題を契機として、f英国は自由貿易を主張して清朝に対しアヘン戦争を起こした。英国は近代兵器により清朝を圧倒し（⑦）を結んで香港を獲得し、その後にフランスを誘っての（⑧）に対する北京条約により中国の半植民地化を押し進めた。

〔G〕四川暴動をきっかけに、武昌において軍隊の一部が蜂起し（⑨）が起きた。革命軍は臨時大総統に孫文を選出し、南京に中華民国の建国を宣言してg清朝の打倒へとつなげた。

〔H〕毛沢東の率いる共産党は（⑩）の率いる国民党との内戦に勝利し、h中華人民共和国を成立させた。敗戦となった国民党は、台湾の地に中華民国として政府を維持した。

〔設問１〕文章中の（①）～（⑩）に入れるのに最も適する語句を答えなさい。

〔設問２〕〔A〕の文章の記述は８世紀におけるものであるが、この８世紀に存在しなかった勢力を以下より一つ選び記号で答えなさい。

ア．フランク王国　　イ．アッバース朝イスラム
ウ．クシュ王国　　エ．シュリービジャヤ王国
オ．ビザンツ帝国

〔設問３〕下線ａについて、玄宗皇帝の寵愛を受けその一族の政治への介入を助長することになった人物とは誰かを答えなさい。

〔設問４〕下線ｂについて、以下の項目のうち新法に該当しないものを一つ選び記号で答えなさい。

ア．市易法　イ．青苗法　ウ．占田法　エ．保馬法　オ．募役法
カ．保甲法　キ．均輸法

〔設問５〕下線ｃについて、元において色目人は中央アジアなど西方出身民族が主であったが、これまで金の支配下にあった人々は何と呼ばれたかを答えなさい。

〔設問６〕下線ｄについて、後に洪武帝となる朱元璋が台頭することになった混乱とは何かを答えなさい。

〔設問７〕下線ｅについて、反清的な書物の作者を厳しく処罰するなどの思想統制を何と呼ぶかを答えなさい。

〔設問８〕下線ｆについて、以下の人物のうち自由貿易の重要性に関する理論を主張した経済学者をひとり選び記号で答えなさい。

ア．マルサス　イ．マルクス　ウ．リカード　エ．リスト
オ．ケインズ

〔設問９〕下線ｇについて、以下の人物のうち清朝が存在した時代に生存していなかったのは誰かをひとり選び記号で答えなさい。

ア．ホセ･リサール　　イ．チュラロンコン（ラーマ５世）

ウ．アブデュルハミト２世　　エ．シモン・ボリバル

オ．イブン・シーナー（アヴィケンナ）　　カ．ムハンマド・アリー

〔設問 10〕下線ｈについて、以下の項目のうち中華人民共和国が成立してからの出来事でないものを一つ選び記号で答えなさい。

ア．中ソ友好同盟相互援助条約締結　　イ．一帯一路政策

ウ．天安門事件　　エ．プロレタリア文化大革命

オ．五・四運動

〔設問 11〕以下の文化人が活躍していたのとほぼ同時代の記述を、〔Ａ〕～〔Ｈ〕の各文章のうちから各々選び記号で答えなさい。

ア．ブーヴェ（白進）　　イ．陳独秀　　ウ．顔真卿　　エ．司馬光

オ．郭守敬

〔設問 12〕以下の諸外国における争いについて、〔Ａ〕～〔Ｈ〕の各文章の内容のうち最も時期が近いものを各々選び記号で答えなさい。

ア．インドシナ戦争が起きる

イ．トゥール・ポワティエ間の戦いが起きる

ウ．十字軍の遠征が始まる

エ．日露戦争が起きる

オ．プラッシーの戦いが起きる

〔設問 13〕３世紀における中国史の概要について 60 字以内で説明しなさい。